

ちゅうりっぷぐみだより

令和6年7月18日 常盤幼稚園 担任 叶有希子

目の前の子どもたちは一体どんな子なのだろうと、緊張しながらもワクワクしていた入園式からあっという間に月日が経ち、今日で終業式を迎えました。入園当初は、ママパパと離れて寂しくなる子、好きな遊びが見つからない子、先生と手を繋いでいないと不安な子…様々な姿だった子どもたちも、少しずつ幼稚園の生活に慣れていき、今では進んで身支度をしたり、おしゃべりもしながら皆でご飯を食べたり、好きな遊びを見つけて元気いっぱい楽しむ姿も見られるようになりました♪友達に対しても、お休みの子に気づいたり、登園してくる子を心待ちにしたり、遊びに誘ったりする姿も見られます。

外遊びでは、石・葉っぱ集め、玩具を使って砂遊び（アイス屋さん、パンケーキ屋さん、甘いもの屋さんになりきりました!）、ダンゴムシ探し（最初は先生と探していた子どもたちも、自分たちだけで探せるようになるほど熱中しました!）、遊具に登れるようになったり、太鼓橋の一つ高いところから降りられるようになったりと、遊びの中でも成長が見られました✿

お部屋では、積み木遊び（ひたすら高く積んだり、乗り物を作って楽しみました!）、おままごと（たくさんの料理を並べて、ご飯を囲んでピクニックをしました♪）、2階や講堂を『探検』しに行ったり、キャラクターになりきって踊ったりと、遊びごとに変わる子どもたちの表情は様々でした!友達が遊んでいると自分も欲しくなっちゃう場面も1学期はたくさんありました。保育者も間に入りながらやりとりを繰り返すうちに、「貸して」が言えるようになったり、言葉で自分の思いを伝えようとする姿が見られるようになりました。やりとりを通して、相手の思いに気づいたり、思いを相手に伝えるという大切な機会にもなるので、お互いの思いを聞き取りながら橋渡しをして、子どもたちの心の成長に繋がれたらと思います。また、自分の好きな遊びが見つかり遊びが充実すると、同じような遊びをしている友達に気づいたりするので、これからも好きな遊びや集団遊びを通して関わりを深めていってほしいと思います!

1学期中、保護者の皆様には沢山のご理解ご協力をいただき、ありがとうございました。一緒に過ごした時間を経て子どもたちは、泣いたり、怒ったり、自分の思いを主張したりしてくれるようにもなりました。幼稚園でも自分を出せるようになっていくこと、嬉しく思います!2学期には沢山の行事があります。ちゅうりっぷ組の皆と行事ができると思うと今から楽しみに思いますが、子どもが「楽しい!」と思って参加できることを大切にして取り組んでいけたらと思います。夏休みの間、可愛い子どもたちに会えないのは寂しいですが、2学期に元気なちゅうりっぷ組さんに会えるのを楽しみにしています🍀

